



危ないぞ  
飛ぶな走るな  
船の上

### 官学労使34人が出席して活発な論議

#### 令和元年度 愛媛地区海運・水産懇談会開催

**愛媛**  
【愛媛支部 村上大基通信員】6月21日14時から、今治国際ホテル2階クリスタルホールで「令和元年度愛媛地区海運・水産懇談会」を開催した。会社側14社18人、学校関係者3校3人、四国運輸局1人、政治参与2人、組合からは平岡英彦国内局長と中・四国地方支部管内執行部9人の総勢34人が出席した。

まず主催者として佐藤宗昭愛媛支部長が「多忙の中、懇談会に参加していただき感謝する。今年度も愛媛地区海運・水産懇談会とし愛媛地区における諸課題や船員政策をテーマに共通認識と情報共有を図り、官学労使にそれぞれの視点から意見を出していただき、船員確保・育成に関する政策実現の一步となる」とも、海運業界そして四国地区の発展につながる有意義な懇談会となるようお願いしたい」とあいさつした。

続いて組合本部から平岡国内局長、会社側を代表して四国開発フェリーの瀬野恵三代表取締役副社長、四国運輸局から弘内雅典海事振興部船員労政課長があいさつを行い、議事に入った。

はじめに組合から第74年度活動方針に基づく取り組みの説明を行った。四国運輸局より四国管内船員職業マッチング事業の実績報告がなされた後、海事・水産教育機関より諸課題と進路状況について説明を受けた。

### 海事・水産教育機関からの主な意見

▽女子小中学生に対し積極的にアピール活動を行い、本年度の商船学科の2割は女子生徒が入学している。

▽学生数については航海コースが27人、機関コースが18

人で例年通り航海コースが上回った。近年は外航船より内航船を希望する学生が多く、人気船種はRORO船、フェリー、タンカーである。

▽毎年、上級海技士筆記取得率は10人以上が合格している状況である。また、外航船員において英語が必須であることから商船学科生徒にTOEIC受験を勧めている。

▽各教員持ち回りで一般高校を訪問しているが、船員職業の認知度が低いため、非常に関心が薄い。職業選択肢の候補になっていないのが実態である。

▽近年では、上級海技免状取得を目指す向上心の高い生徒が増えている。

▽就職率100%を維持し続けているものの、就職先とのミスマッチによる中途退職が後を絶たないことから、生徒にヒアリングを行い、ミスマッチがないように努めている。

▽実習船「えひめ丸」の延命大規模工事が完了するものの、改修しなければならぬ全体の5割程度の延命工事であるため、今後対応できるのか、めどが立っていない。

▽本年度入学者数は21人(うち女子2人)であり、定員割れしているものの、船員を目指し入学してくる新入生が少しずつ増えている傾向である。

▽専攻科を希望する生徒数も多く、近年では県外からも受け入れていることから専攻科へ希望しても進学できないこともある。しかしながら実習船の定員の問題もあり、専攻科の定員を増やすことは現実的に難しい。

▽ECDIS講習機関として本年3月に登録完了し、4月より運用開始しており、対象は専攻科漁業科生徒としている。また、「えひめ丸」に簡易シミュレーター設備を設置し

### 第1回北九州・下関地区ボウリング大会開催

**九州関門**  
【九州関門地方支部 小椋康之通信員】下関口イナルボウルで6月7日、ボウリング大会を開催し、現場組合員とその家族、職場委員、担当会社から19チーム71人が参加した。

開会にあたり、漢那太作九州関門地方支部長が「今年で27回目を迎えるボウリング大会は、『令和』への改元を記念し、大会名称を新たに第1回北九州・下関地区ボウリング大会とし開催する。本日は、他のチームとも親睦を深め、日頃のストレスをピンにぶつけ、大いに楽しんでほしい」と

徒が増えてきている。

▽就職率100%を維持し続けているものの、就職先とのミスマッチによる中途退職が後を絶たないことから、生徒にヒアリングを行い、ミスマッチがないように努めている。

▽専攻科を希望する生徒数も多く、近年では県外からも受け入れていることから専攻科へ希望しても進学できないこともある。しかしながら実習船の定員の問題もあり、専攻科の定員を増やすことは現実的に難しい。

▽ECDIS講習機関として本年3月に登録完了し、4月より運用開始しており、対象は専攻科漁業科生徒としている。また、「えひめ丸」に簡易シミュレーター設備を設置し

続いて、組合政治参与である奥村直樹北九州市議会議員と城井崇衆議院議員事務所の緒方文則秘書よりあいさつをいただいた後、始球式を行い、ゲームがスタートした。

会場では、仕事仲間や家族との交流を楽しむ人や、応援に来た家族の声援にこたえようと奮闘する人の姿も見られた。さまざまな楽しみ方をする参加者により、会場は熱気と笑いで最高に盛り上がった。

ゲーム終了後は、毎年恒例の担当各社による豪華賞品の

ている。

**各社からの主な意見**

▽波方海上技術短期大学の受験数が175人に対し定員90人であり、85人が入学できていないことから、船員を目指す学生を取りこぼすことがないよう早急に定員増加を行うべきだと思ふ。

▽今治市において造船業界のアピール発信が多いため、海運業界のアピール発信を船員養成学校と船会社が連携し、認知度を高めていく必要があると強く感じている。

▽内航船ではできる限り仮バスを行い、定着率の向上に努めている。また、学生時代入寮していた生徒の方が就職しても長く続く傾向にある。

最後に、佐藤愛媛支部長から「本日の懇談会により、愛媛地区海運・水産に係る問題について共通認識が図れた。引き続き、信頼ある労使関係の下、官学労使が一致団結し、船員確保・育成など共通する政策的課題については、問題解決に向け全力で取り組んでいきたい」と閉会のあいさつがあり、懇談会を終了した。

抽選会と表彰式が行われ、賞品が授与されるたび、会場に歓声が響きわたった。

参加者からは「賞品を獲得できてとてもうれしいです」「来年もまた楽しみにしています」など、感謝の声が寄せられ、成功裏にボウリング大会を終了した。

**大会結果**

▽団体戦  
優勝 西日本海運Bチーム  
(上田武文さん・上田明さん・村田雄さん・平出直輝さん)

▽個人戦  
男子優勝 久保川勇希さん  
(アジアパシフィックマリン)

女子優勝 榮麻美さん(関門水先区パイロット組合・家族)